

01.-10.27 阿 NAMOAMIDABUTSU
阿弥陀如来線
今こそ私
▶ 極楽往き
083-973-0111
十劫の昔より未来永劫有効

！？！



仏様の浄らかな悟りの世界



極楽浄土
Gokuraku jodo



阿弥陀如来線
Amida-budda Line

死ぬときに、何倍もの
苦しみを受ける世界

六道輪廻路線図

Rokudo-rinne Map

怒り、憎しみの世界



地獄界
Jigoku kai

R06



天界
Ten kai

R01

言語と心情の世界



人間界
Ningen kai

R02

争いの世界



阿修羅界
Ashura kai

R03

畜生界
Chikusho kai

R04

本能のままの世界

貪りの世界



餓鬼界
Gaki kai

R05

いのちの路線図

私たちのいのちは、生前の行いによって右図のように、六道（天、人、阿修羅、畜生、餓鬼、地獄）という迷いの世界を何度でもめぐり続けているいのちであるとお釈迦さまは説かれていきます。

この六道を超えた世界が極楽浄土です。極楽の世界は苦しみのない浄らかな世界で、そこから阿弥陀仏の光明が常に私を照らしています。六道輪廻し彷徨い続けている私の姿をあらわにします。

阿弥陀仏は、「迷い傷つき苦悩する私たちを決して見捨てることなく、「すべての者を救いたい」という願いを起こし、極楽浄土を建立しました。その仏さまの願いに出遇ったならば、浄らかな世界に必ず往くことができます。

仏教は死んだ後の話？

よく、仏教は死んでからのこと、今の人生とは関係ないと言われます。しかし、いのちの行き先を聞いていくということは、今ここからの生き方に直結していく問題です。旅路に道標がなければ路頭に迷い不安になるように、人生にも歩むべき行く先がなければ迷い続けてしまいます。

「極楽往きの切符」は、まさに私のいのちの現在地と往く先を正しく示してくれるいのちの道標です。迷った時は、自分の立ち位置を確かめ、行き先を確かめて、また歩き出す。独りではなく、阿弥陀さまと一緒にの道なのです。「極楽往きの切符」はすでに私たちの手元に届いているのです。



六道輪廻線
Rokudo-rinne Line

- 阿弥陀如来線 (即時特急)
- 六道輪廻線 (終点無し)
- 生死苦海線 (辺り無し)